

報告事項

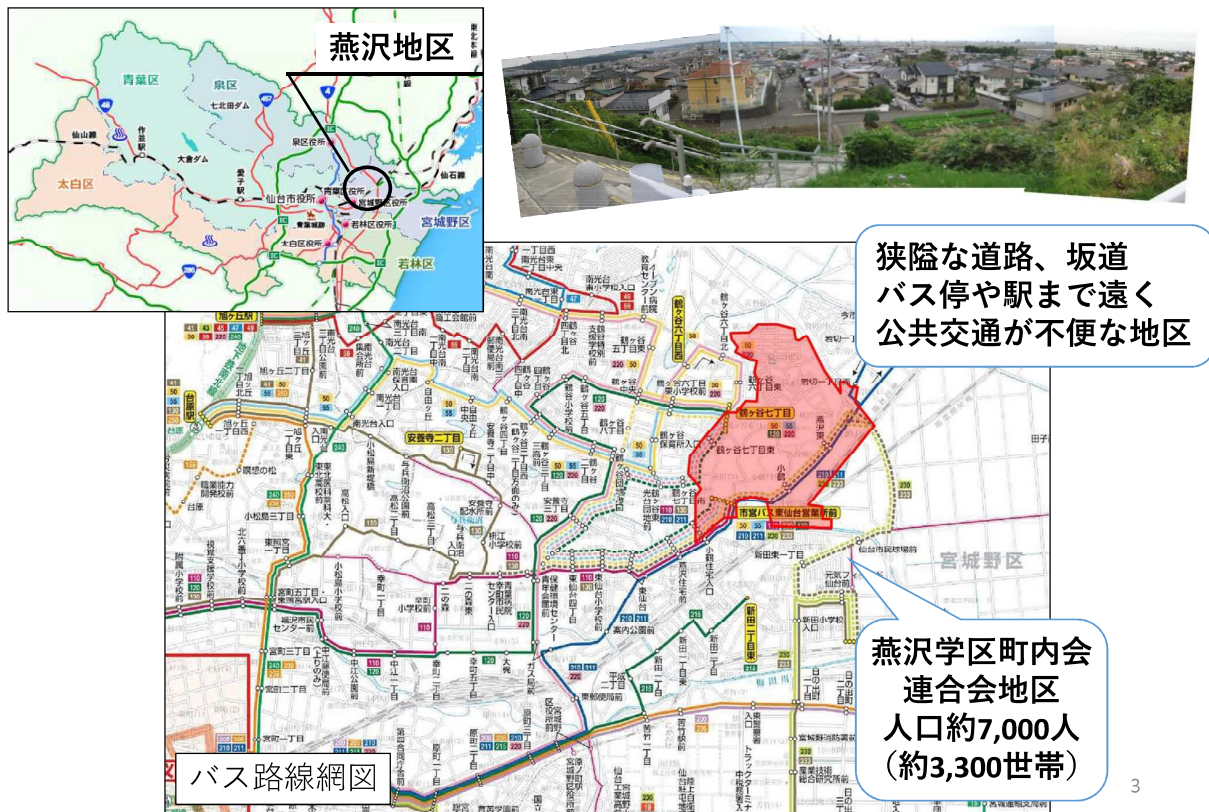
報告事項

市内の地域交通等の状況について

報告地区について

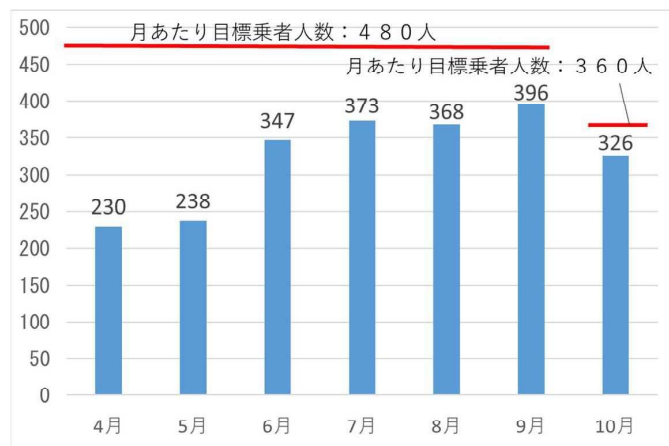
1. 宮城野区燕沢地区 実証運行
2. 太白区坪沼地区 試験運行
3. 青葉区新川地区 試験運行
4. 太白区秋保オンデマンド交通実証運行

燕沢地区 実証運行の状況（1）



燕沢地区 実証運行の状況（2）

期間	令和2年4月1日～ 令和3年3月31日 (計144日間)
運行日数	月・水・金 (夏季8便、冬季6便)
運賃	・大人1回200円 ・高齢者、障害者 1回100円
乗者人数	・2,278人 (10月末現在)



【現状と今後について】

- ・7か月間の目標乗者人数3,240人に対しては、962人不足している。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、4月、5月は一時的に利用が落ち込んだものの一定程度の回復が見られており、今後も継続して利用していただけるよう、地域とともに呼びかけを行う。

坪沼地区 試験運行の状況（1）



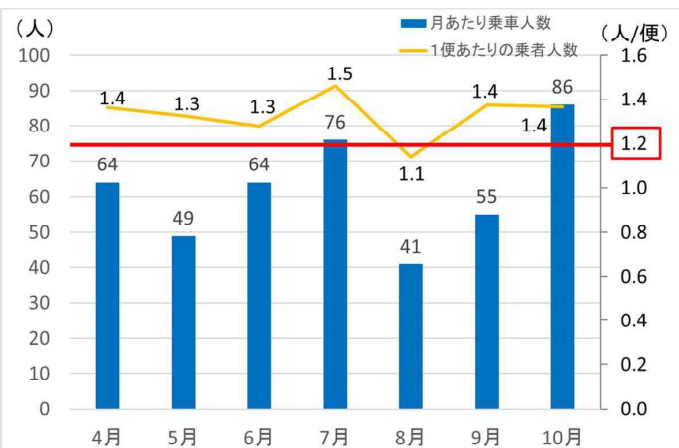
- 北、東、西の三方が山に囲まれ、田んぼの中に各世帯が点在し、人口約400人（約150世帯）が暮らしている。
- 集落地の中央を縦断するように走るのは県道「仙台村田線」で、周辺地区の大動脈。
- 平成18年4月までは、民間バス事業者が、村田町と仙台市内を結ぶ路線（赤色）を運行していた。



出典：電子地形図（国土地理院）を加工して作成

坪沼地区 試験運行の状況（2）

期間	令和2年4月1日～ （平成18年5月1日開始）
運行日数	平日（1日6便）
運賃	・大人1回400円 ・高齢者、障害者 1回100円
乗者人数	・435人 （10月末現在）



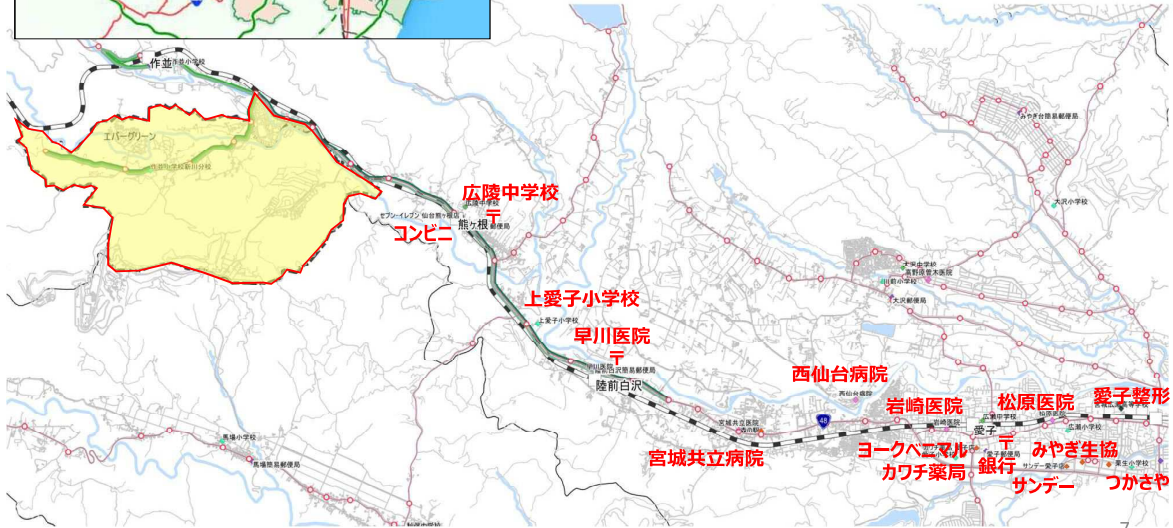
【現状と今後について】

- ・1便あたり1.2人以上の乗車目標はほぼ達成している。
- ・今後は、地域包括支援センターと連携したイベントなどを通じて更なる利用促進を図る。

新川地区 試験運行の状況（1）

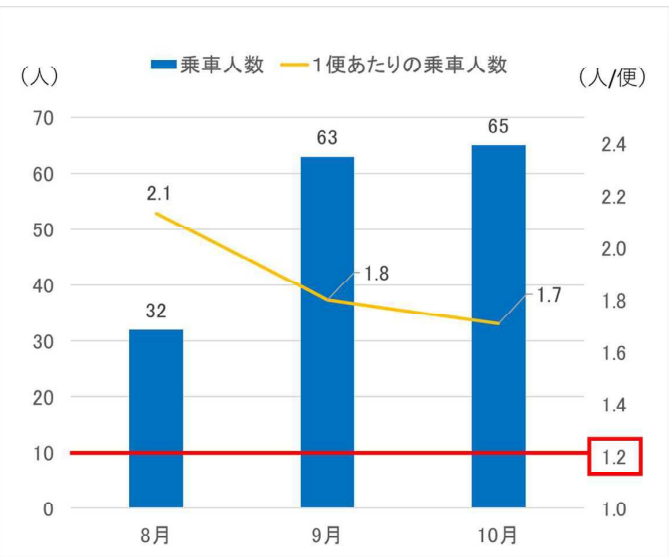


- ・人口 約600人（約300世帯）
- ・地区内に商店や病院がない
- ・市営バスが運行しているが、小中学生の通学利用に特化したダイヤ
- ・小学校統合に伴いスクールバスが運行
- ・バス停から遠い箇所に住宅が点在



新川地区 試験運行の状況（2）

期間	令和2年8月17日～ 令和3年3月31日
運行日数	月・水・金 (1日5便デマンド型) 火・木 (1日2便デマンド型)
運賃	・大人1回 500円／800円 ・高齢者、障害者1回 100円／160円
乗者人数	・160人 (10月末現在)



【現状と今後について】

- ・1便あたり1.2人以上という目標は達成している。
- ・今後は、地域外からの利用者の取り込みなど、さらなる利用者増に向けて地域と共に取り組みを進める。

秋保オンデマンド交通実証運行の状況（1）

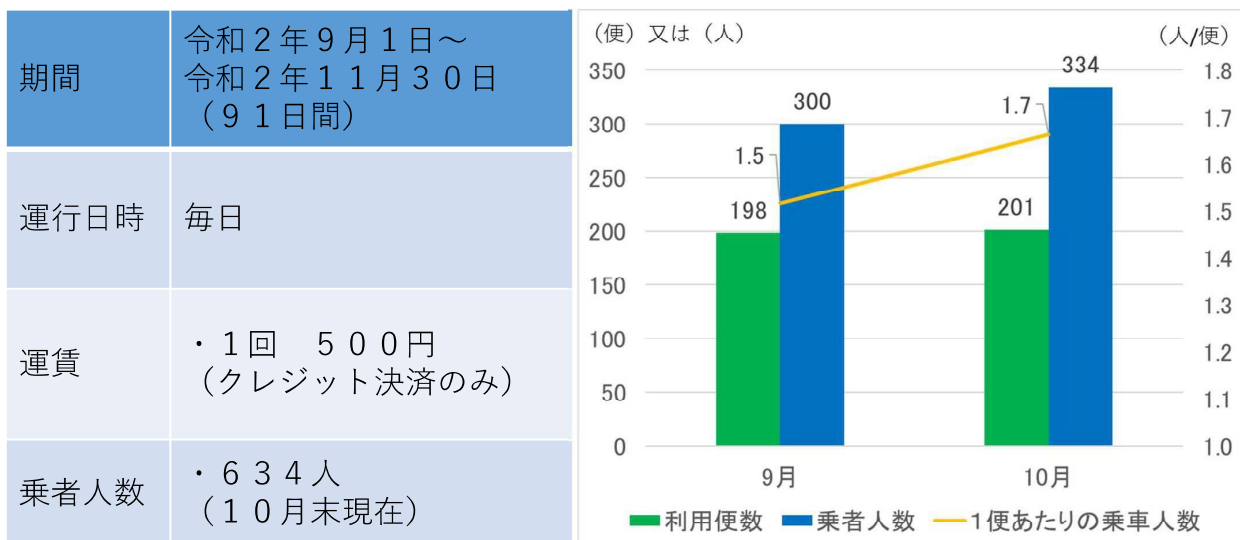
運行主体：東日本旅客鉄道株式会社

【課題】

路線バスの運行本数が少なく、観光回遊には不便であり、観光客が点在する観光施設や見どころをあきらめてしまう



秋保オンデマンド交通実証運行の状況（2）



【今後の見通し】

- ・2021年4月から開催の東北デスティネーション・キャンペーンにおいても、秋保オンデマンド交通実証運行の継続実施を検討しており、地域住民がご利用しやすい環境づくりを検討。
- ・現在の運行経費はJR東日本の自己負担であり、収支は大幅な赤字である。現行スキームでの運行継続は困難であることから、仙台市、秋保地区の交通を考える会、運行事業者、地域住民などと、持続可能な交通モードの在り方を検討していきたい。